

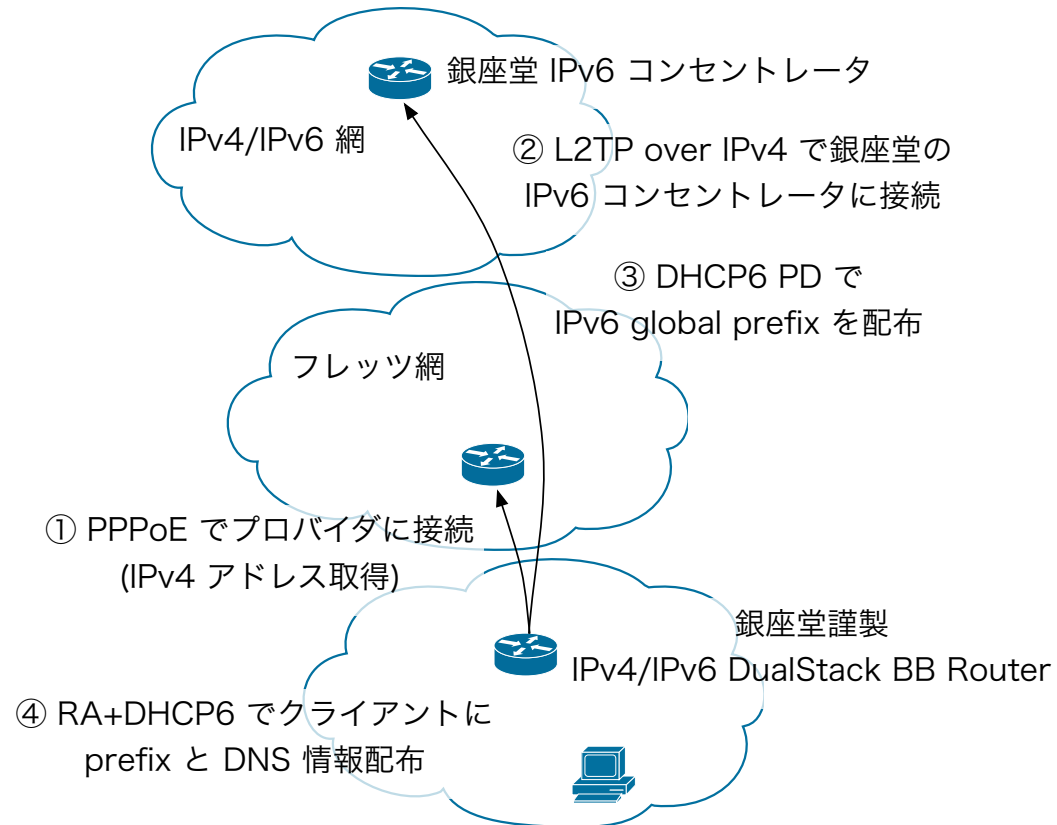
銀座堂謹製

IPv4/IPv6 DualStack BB Router
の紹介

有限会社銀座堂 浅間正和

Demo

接続イメージ



ところで...

- いわゆるフレッツ・マルチプレフィクス問題はどうなの？
 - ❖ ご安心ください！
IPv6 フレームをブリッジするようなことはしませんので、フレッツの IPv6 プレフィクスが端末に振られることはありません。
- フレッツ・スクエアやフレッツ・スクエアネクストに繋がりたいときはどうしたらいいの？
 - ❖ ごめんなさい！
フレッツ・スクエアやフレッツ・スクエアネクストはサポートの対象外です。今後サポートするつもりもありません。

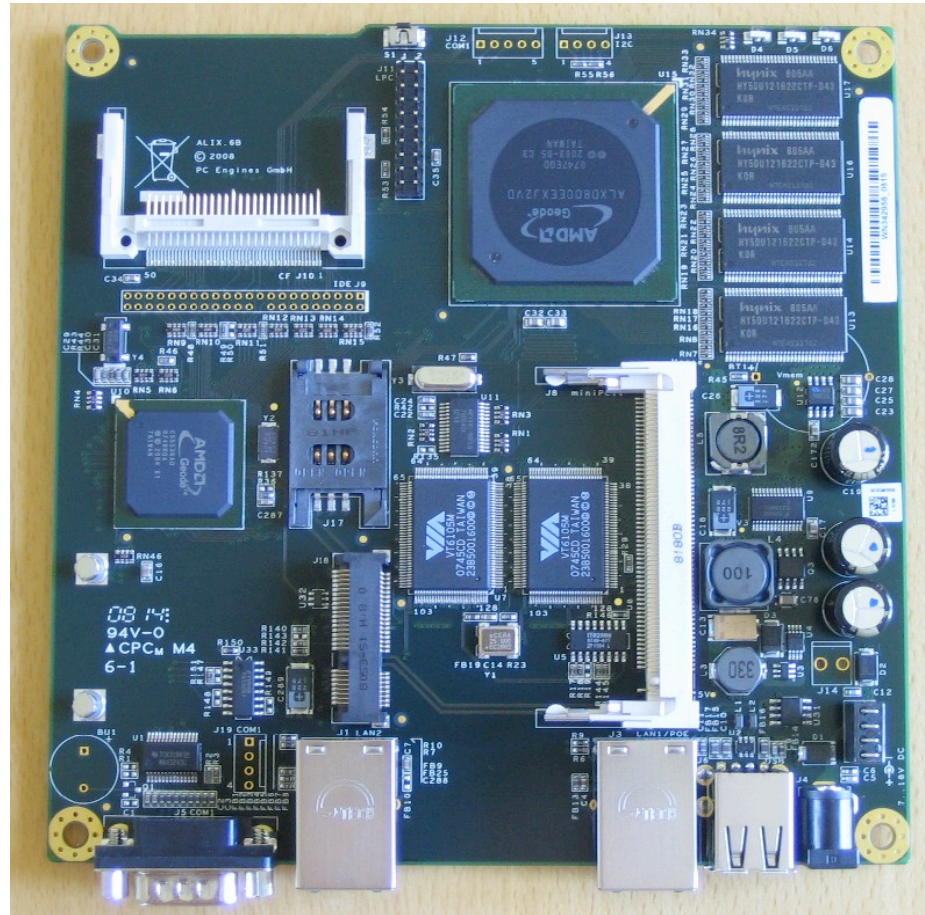
コンセントレータ

- 構成:
 - FreeBSD 7.2-RELEASE
 - mpd-5.3
 - dhcp6-ppp-20080615_1
(梅本さんからパクったもの)
 - CPU: Celeron 445 1.86GHz
 - Mem: 2GB

DualStack BB Router

- 構成:
 - NanoBSD based on FreeBSD HEAD CVS
(いつ頃のだったか忘れた...)
 - mpd と dhcp6 はコンセントレータと一緒に
 - apache 2.2.11/lighttpd 1.4.23/python 2.6.2/django 1.1/isc dhcp 3.0.7
 - CPU:AMD Geode LX800 500MHz
 - Mem: 256MB

PC Engines alix6b2



NanoBSD

- FreeBSD を CF 等に突っ込んで組み込み機器に搭載するための仕組み.
- packages にも対応しており FreeBSD ができることは何でもできる(?).
- `/usr/src/tools/tools/nanobsd` で `nanobsd.conf` 作って,
`./nanobsd.sh -c nanobsd.conf` などとすると,
`/usr/obj/nanobsd.full` に CF イメージができる.
- `/etc` と `/var` 以外はすべて `read-only` でマウントされ,`/etc` と `/var` もメモリファイルシステムなのでいきなり電源ぶっこ抜かれても大丈夫.
- `/etc` がメモリファイルシステムなので起動中書き換えても再起動で消える.`/cfg` というパーティションに保存しておくとも起動時復元される.

参考情報

- L2TP IPv6 Tunnel at CBUG 20th Meeting
- <http://www.imasy.or.jp/~ume/presentation/CBUG-20070421/>
- ❖ 梅本さんが CBUG で発表された資料
- Softwire Hub and Spoke Deployment Framework with Layer Two Tunneling Protocol Version 2 (L2TPv2)
- <http://tools.ietf.org/html/rfc5571>
- ❖ 基本的に 3.1.2. Router CPE as Softwire Initiator と同じ
- ❖ ただし L2TP link 上で RA を使って global prefix のアドレスを配ることになっているが本方式では link-local prefix のアドレスしか用いない